

ロボット草刈り機導入による省力効果

(令和6年度グリーンな栽培体系への転換サポート事業)

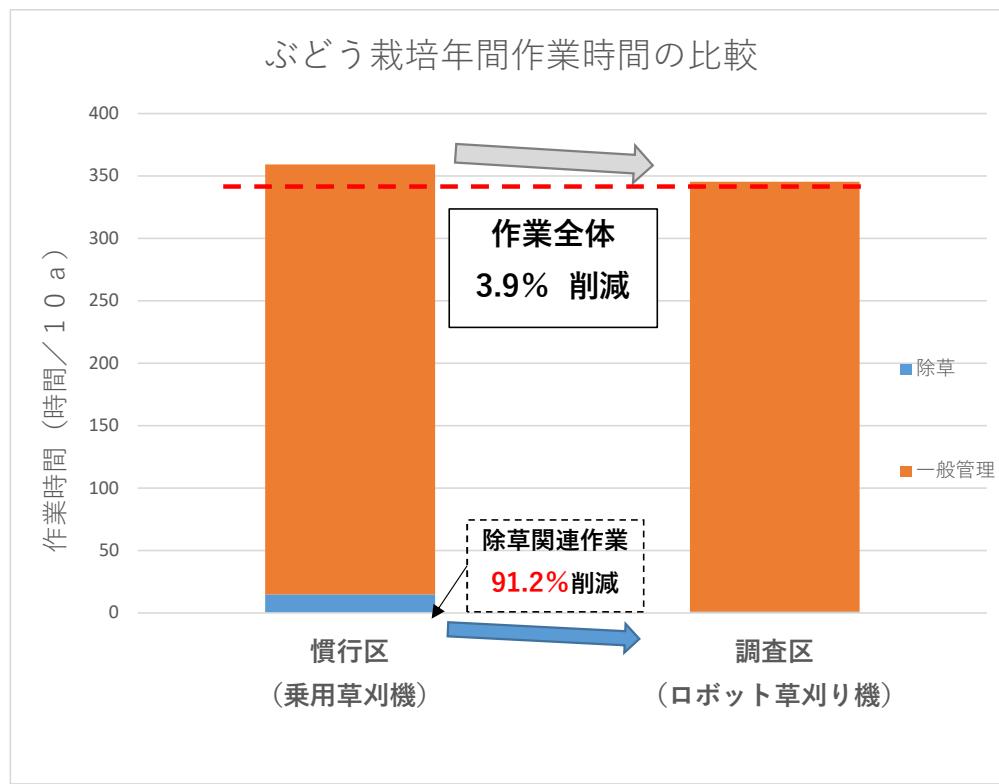
実証場所：勝央町 簡易被覆栽培(ピオーネ)園地

慣行区：乗用草刈機(キャニコム製 ヘイまさお)

調査区：ロボット草刈り機(和同産業製 KRONOS)

表 ぶどう栽培管理作業時間の比較 (2024年4月～2024年12月) 単位：時間(10aあたり)

作業名	慣行区 (乗用草刈機)	調査区 (ロボット草刈り機)	削減率
除草	除草作業	13.3	15.2→1.3時間 △91.2%
	移動、メンテナンス	1.8	1.3
一般管理	新梢・果房管理、収穫、防除、せん定等	344	344
合計(年間)	359	345	3.9%



備考・ロボット草刈り機の設置時間は、作業時間に含まない

・ロボット草刈り機の導入費用は、約60～70万円(30～40a当たり)。

労働時間削減効果を所得に換算すると27,494円/10a
(13.9h(削減時間) × 1978円(時間当たり所得)

4反使用したとすると109,977円(27,494円 × 4反)。

労働力削減効果は、6～7年で導入費用を上回る。

・一般管理、労働力1時間あたり所得は、岡山県農業経営指導指標
(ピオーネ・簡易被覆)から引用